

「親と子どもの居場所づくり事業」の実施について

1 目的

家庭の世帯収入の状況とは関係なく、物や教育、経験、人とのつながりなどに恵まれていない「関係性の貧困(※)」を未然に防ぐことができるよう、親の子育ての負担を軽減するとともに、子どもの前向きな気持ちや生きる力を育む「親と子どもの居場所」をモデル事業として開設し、個々の状況に応じて包括的に支援する場を提供する。

- ※ 例：季節の行事などを体験したことがない
学校の宿題などを見てもらえていない
身近に尊敬や相談できる人がいない など

2 居場所の概要等

居場所名称	キッズハウス・いろどり	こどもの里 ふらっと☆たからぎ
場 所	戸祭地区内	細谷・上戸祭地区内
開設日時	毎週 水・木・金の午後3時～8時 (木曜日は親への相談対応)	毎週 月・水・金の午後3時～8時
運営団体	一般社団法人栃木県若年者支援機構	企業組合労協センター事業団
利用対象	子どもとその親（各施設とも10組20名程度）	
利用申込	利用希望者が各施設運営団体に直接利用申し込み	
利 用 料	無料	
開 所 日	令和2年9月2日	

3 事業内容

(1) 親への支援

子育ての心理的・身体的負担の軽減を図るための親同士や居場所のスタッフとの交流，栄養士等を招いた講座の実施，行政支援の情報提供，食事の提供など

(2) 家庭学習の支援

授業の復習や宿題のサポートなど，家庭学習習慣を身につけるための指導や助言

(3) 生活習慣の支援

挨拶や手洗い，食事後の片付け，脱いだ靴を揃えるなど，日常生活の指導や助言

(4) 体験・経験機会を提供する支援

季節の行事や誕生会，野外炊飯，野菜収穫など，体験・経験の提供

4 評価・検証

親においては子どもとの望ましい関わり方や，子どもにおいては生活習慣や家庭学習習慣の改善などをアンケートの結果等により評価するとともに，利用する親子の実態なども踏まえて，効果的・効率的な支援プログラムの策定や親子にとって身近で利用し易い施設配置，従事する人材の確保・育成のための方策，今後の運営主体のあり方などについて検証する。

5 スケジュール

令和2年8月 学校や地域等への周知

9月～ 「親と子どもの居場所」モデル事業開始（令和4年3月終了予定）

令和3年3月～ モデル事業の評価・検証

今後の事業のあり方についての検討

(参考) 居場所のイメージ



(学習・体験・食事等をして過ごす場)



(学習サポーターによる学習支援)

